■令和8年度　F-e目標

内容	項目	単位	除外施設	区分	６年度	７年度	８年度
市有施設におけるエネルギー使用量削減	電気使用量削減	千kg-CO2換算（千kwh）		目標値	2,044 （5,646）	2,044 （5,646）	2,044 （5,646）
				年度ごとの参考値※	2376 （6,501）	2,290 （6,292）	2,275 （6,250）
				実績値	2591 (6597)	2267 (6533)	
	電気以外のエネルギー使用量削減（都市ガス、LPG、A重油、軽油）	千kg-CO2換算（kℓ：原油換算）		目標値	1,083 （541.0）	1,083 （541.0）	1,083 （541.0）
				年度ごとの参考値※	1,241 （620.4）	1,222 （610.5）	1,212 （605.6）
				実績値	1,234 （616.3）	1449 （724.5）	
自動車利用によるエネルギー使用量削減（ガソリン・軽油・天然ガス）		千kg-CO2換算（kℓ：原油換算）		目標値	71 （26.5）	71 （26.5）	71 （26.5）
				実績値	61 （22.7）	60 （22.3）	
市有施設における可燃系廃棄物発生抑制	可燃系事業廃棄物（重さ）	kg	小中学校	目標値			
				実績値	17,942	23,909	
	可燃系一般廃棄物（４０ℓ袋）	袋	小中学校	目標値			
				実績値	1,849	1,841	
再生紙の使用量削減		千枚：A4換算	小中学校	目標値			
				実績値	4,566	4,409	
市有施設における水道水の使用量削減		㎥	市営プール 小中学校プール	目標値			
				実績値	75,537	79,475	
各部署での取組状況の点検 F-e全体に関わる方針や取組内容の内部共有					【目標】 ◎２０５０年の脱炭素を目指す水準で取組の加速化を図らなければならないことを意識し、環境配慮行動の改善に繋げる。 ◎各部署・施設において、エネルギー使用状況の把握に努め、施設改修や、エコチューニング等の運用改善による効果的・効率的なエネルギー使用量（環境負荷）低減を図る。 【具体的方針１】 第5次福生市地球温暖化対策実行計画（以下第5次計画）について、以下のポイントを中心に庁内での理解を深める。 ・2050年脱炭素に向けた気候変動対策の必要性 ・第5次計画の基本方針（4つのポイント） ・計画改定に伴うF-e運用に係る改善・変更の周知と理解促進 【具体的方針２】 重点管理部署・施設をはじめとした市有施設において、以下の取組により環境負荷削減を継続・進展させる。 ・温室効果ガス排出量の把握及び、目標値と実績の乖離状況の注視及びその要因の検討 ・エコチューニング等の実施手法例の理解 ・設備保守事業者等との設備における効率の良い運用方法に関する協議（情報交換）と、得られた知見の展開	【目標】 ◎取組の市内展開に向けて、F-eの仕組みを見直す。 ◎市民参加型の点検・評価の新たな手法を検討・試行し、検証する。	【目標】 ◎市民参加型の事業者ヒアリングの手法について確立を図る。
環境配慮に関する取組状況の公開 市民による環境情報の発信					【目標】 ◎エコシティふっさへの機運醸成にむけて、環境に関する取組の発信、協力連携による発展に努める。 具体的方針１ 各部局・施設から様々な形でエコシティふっさの形成につながる情報発信を行う。 具体的方針２ 各部局・施設における環境取り組みを、市民・事業者または他部局・他施設と連携することにより発展させる。（それぞれ、対象や方法、内容は部局・施設の特性に応じて工夫する）	【目標】 ◎新たな点検・評価にともなう情報発信のありかたを検討・試行し、検証する。	【目標】 ◎事業者ヒアリング等の環境情報について多様な媒体を活用した発信・効果検証を行い、発信方法の改善につなげる。

※年度ごとの参考値とは、以下の方法で定めた計画目標までの各年度における目安の排出量とする。
・電気、電気以外の排出量
運用改善施設においては、令和4年度実績に対して毎年1%削減した値
改修施設については、改修年度の翌年から5次計画の期待削減量を引いた値
計画最終年に改修予定となっている施設については、最終年に期待削減量を引き、参考値とする。
・自動車による使用量については、令和4年度実績から10%削減した値を計画期間の目標としているため、参考値の設定は行わない。